

森林関連情報のオープンデータを公開しました

令和7年度から、基盤的な森林関連情報について、全国の民有林と国有林とを合わせた「全国統合データ」の整備・公開を開始しました。第一弾として、森林の所在を表す「森林計画対象森林レイヤ」、森林簿等に基づく樹種や林齢等の情報を表す「全国森林資源メッシュ」、一部地域の「航空レーザ測量データ」を公開しました。

1 これまでの経緯

森林・林業行政のために整備された森林簿などの森林資源に関連する情報（以下「森林関連情報」という。）には、森林所有者の氏名や住所、材積などが掲載されているものがあります。このため、森林関連情報の提供や公開は、これまで、それぞれの都道府県等が定めた個人情報保護条例に基づいて行われてきており、取組状況には非常に地域ごとの温度差がありました。

森林・林業を取り巻く情勢を見ると、戦後造成された人工林の多くが利用期を迎え、国産材の利用が進んでおり、林業や木材産業の事業活動の広域化が進んでいます。加えて、「2050年ネット・ゼロ」や「2030年ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、地球温暖化防止や生物多様性の保全などの環境に配慮した取組が強く求められるようになっていきます。こうしたことを背景に、森林関連情報に対する社会のニーズは非常に高まっています。

また、政府全体として、地理空間情報の活用や流通の

促進を図っているほか、国や地方公共団体が保有する公共データについて、オープンデータとして公開する取組が進められています。さらに、地方公共団体等の個人情報取扱いについては、個人情報の保護に関する法律に一本化されました。

このような情勢を踏まえ、林野庁では、全国の森林関連情報をオープンデータとして公開を進めることとしました。

2 令和7年度に

オープンデータ化した情報

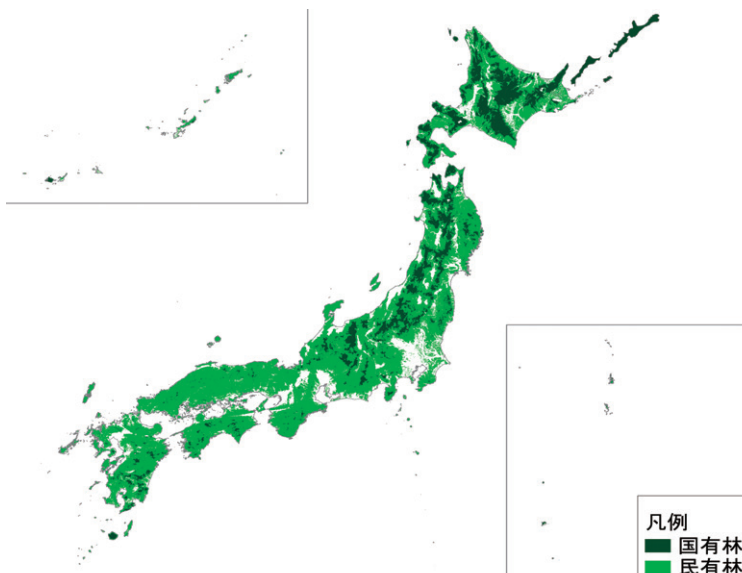
（1）森林計画対象森林レイヤ

森林法第5条に基づく地域森林計画の対象である民有林と同法第7条の2に基づく地域別森林計画の対象である国有林の情報を合わせた範囲を示すGISデータを公開しました。これまでは各機関から個別に入手する必要がありましたが、今回、全国統一したデータ仕様で利用することが可能になりました。

森林計画対象森林レイヤの属性情報

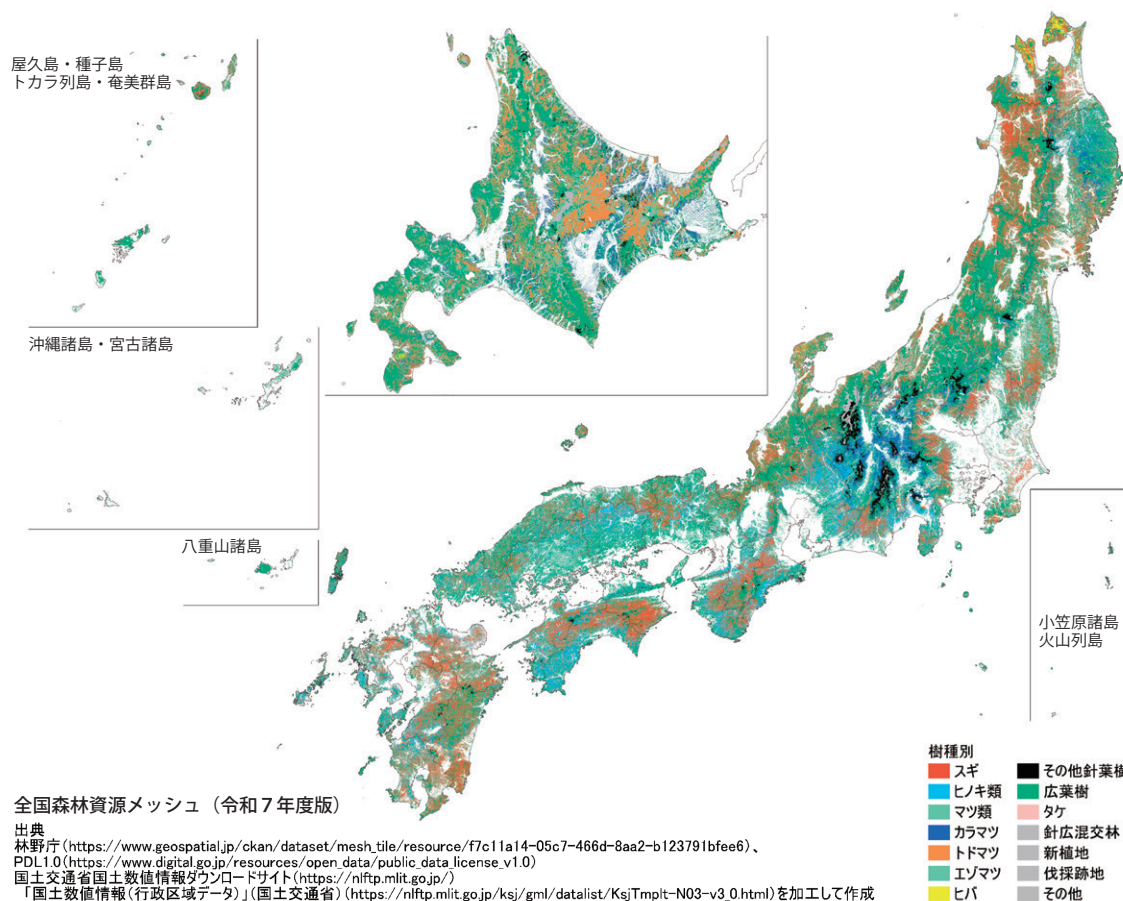
属性項目	
①	森林管理局（国有林のみ）
②	森林管理署等名称（国有林のみ）
③	森林計画区コード
④	森林計画区名称
⑤	林班
⑥	都道府県コード
⑦	都道府県名称
⑧	市町村コード3桁
⑨	市町村コード5桁
⑩	市町村名称
⑪	広域流域名称
⑫	データ時点
⑬	民国別
⑭	旧市町村

森林計画対象森林レイヤ



(2) 全国森林資源メッシュ

一辺20mのメッシュポリゴンに森林簿由来の資源情報を格納したGISデータを公開しました。航空レーザー計測・解析が完了している一部地域については、その解析情報も併せて格納しています。



これまで都道府県ごとに自由線形のポリゴンで管理されてきた情報を、今回メッシュ化したことで、地域横断的な分析が可能となるだけでなく、より効率的な森林関連情報の管理・更新が可能になることが期待されます。

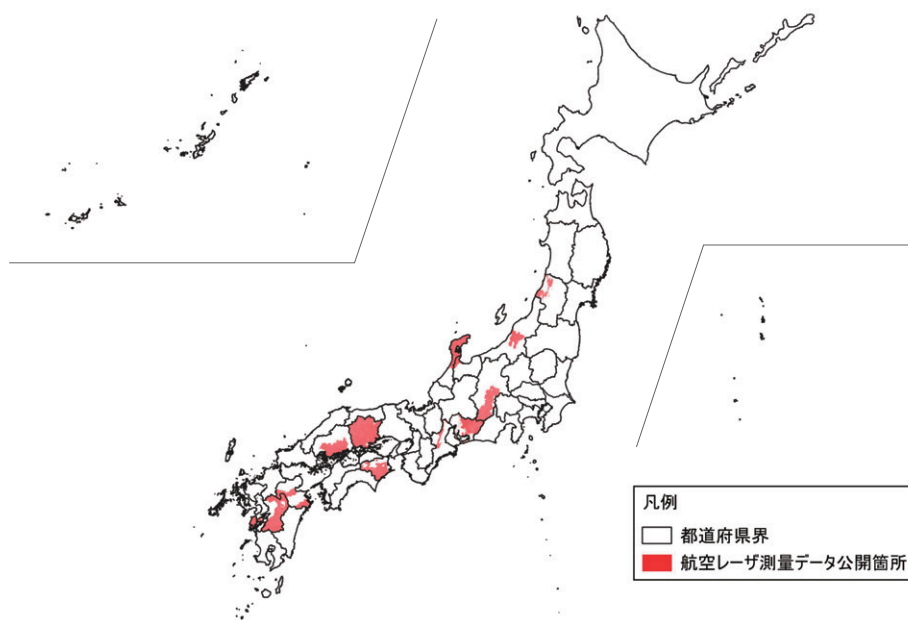
全国森林資源メッシュの属性情報

属性項目	
①	林種
②	樹種 (最大第3樹種まで)
③	林齢
④	森林簿年月日
⑤	樹冠高
⑥	解析樹種
⑦	立木密度
⑧	標高
⑨	計測年月日

(3) 航空レーザー測量データ

下地図で着色している範囲について、林野庁や都道府県等が取得した航空レーザー測量成果を基に、地形の情報であるDEMデータやCS立体図のマップタイルなどを公開しました。このDEMデータは、現在、国土地理院が公開しているデータよりも高い解像度0.5mで公開しており、森林・林業分野だけでなく、防災・災害対応や古墳等の遺跡の探索などにも広く活用することができます。

令和7年度の公開範囲



3 おわりに

オープンデータ化を進めることにより、森林関連情報を有効に活用した事業活動等の展開だけでなく、民間における多様なサービスの創出等も期待されます。

今年度以降、順次「保安林」「山地災害危険地区」「林道」等の基盤的な森林関連情報を新たに公開するほか、航空レーザー測量データについて公開地域の拡大を図るとともに全国森林資源メッシュへの情報の格納を進めていきます。